



NIPPON BEARING

## 9月30日付 日本経済新聞広告 回答と解説

【問題】 左右に動くプリンターのインク、何万ページ分往復できる？

- ① 1万ページ    ② 5万ページ    ③ 10万ページ

【答え】 ③10万ページ

【解説】

答えは③の10万ページ！

現在販売されているインクジェットプリンターは省電力や高い耐久性、インクの量の調節など環境に配慮された機種が多くなっています。

その中で、直動ベアリングが活躍する場所は、左右に何度も往復してインクを運ぶプリントヘッドの部分です。出力のたびに絶え間なく往復し、正しい印刷場所にインクを運んでいます。

インクそのものの性能が良くなっても、正しい位置にインクが運ばれなければ文字や画にはズレが生じて、綺麗に印刷されません。

常に動き続けるプリントヘッド、その耐用ページ数は約10万ページに設計されています。

(使用条件により増減します)

10万ページもの数を往復しても、寸分の誤差もなく正しい位置にプリントヘッドを運ぶことが求められますので、何度も厳しいテストを重ねて寿命計算を行い、審査をクリアした部品が活躍しているのです。

また、昔の機器に比べて最近のプリンターは静粛性も兼ね添えていますので、ベアリング技術の向上には目を見張るものがありますね

プリンター以外のOA機器では、コピー機、FAXなど様々な機器で活躍しているベアリング。

目に見えないところで黙々と頑張っています！

【企画・協力：(株)学研エデュケーショナル】